

2020年度(令和2年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(1)番 福山市立鞆の浦学園(前期課程)

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決能力	情報活用能力	コミュニケーション能力	郷土愛
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	①物事を多面的に見たりこれまでの経験や知識を活用したりする中で新たな課題を発見することができる。 ②多様な他者と協働したりよりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出し実行したりすることができる。	①適切かつ効果的な情報を収集できる。 ②収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて、目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。 ③多様な他者を相手とし、方法と関連付けてより効果的な方法を発信することができる。	①多様な他者と互いの考えを認め合いながら協働することができる。 ②多様な他者と協働することで新たな考えを創造し、適切かつ効果的な解を導き出すことができる。	①鞆のよさや課題を理解した上で、解決策を考えることができる。 ②世界的な視野で、鞆のよりよい町づくりに貢献できる。

2 授業の現状

- ・「授業で考えることが面白い」の肯定的評価 76.5%(昨年度 10月 74.2%→2月末 76.5%)
- ・「授業の内容はよく分かる」の肯定的評価94.3%(昨年度 10月 87.9%→2月末 94.3%)

転換

3 めざす授業の姿

- ・考え、話し合い、学び合う、みんなとともに自信を育てる授業
- ・「なぜ?」「わからん、教えて!」「やった、わかった、できた!」「もっとやりたい!」などの声のする授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「なぜ?もっと知りたい! 考えたい!」と思う課題を提示する。 ・毎時間学んだことに対する自分の考えをまとめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「「分かった」「できた」「もっとやりたい」という意欲をもって学んでいる」の肯定的評価は 84.1%だった。 ・児童アンケート「自分の考えは認められている」の肯定的評価は 74.6%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの疑問をもとに課題を提示し、学習を進める。(肯定的評価を 85%以上) ・義務教育学校の強みを生かし、学年を超えてお互いを認め合う交流を積極的に行う。(肯定的評価を 80%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの疑問をもとに学習が進むので、意欲的に取り組んでいる。(肯定的評価 85.7%) ・学年を超えて認め合う交流の場を行い、さらに子ども自身で計画・実施する経験を多くもつことができた。(肯定的評価 77%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りを評価・活用して、「できた」「わかった」ことをノート等に残す。(肯定的評価を 85%以上) ・学習のつながりや次学年を意識して、学年で学んだことを学年を超えて積極的に交流する。(肯定的評価を 80%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものふり返りから次時の課題を設定したり、個別にアドバイスしたりすることができた。(肯定的評価 88.9%) ・授業の中では積極的に異学年交流ができたが、日頃は掲示に頼る部分が多く、交流の場を工夫・改善する必要がある。(肯定的評価 82.5%)

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

国語	72.0(+6.0)	自分にはよいところがある	79.2
算数	65.0(-3.0)	先生はよいところを認めてくれる	70.9
	()は県平均との差	将来の夢や目標を持っている	87.5
		人の役に立つ人間になりたい	91.7

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)

学校へ行くのは楽しい	85.0
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	90.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	80.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	90.0

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	3
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 16/48	昨年度の重点課題である「長座体前屈」は、県平均値以上が3項目、「立ち幅跳び」は、県平均値以上が1項目で、目標値に到達していない。	男子は「上体起こし」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」に、女子は「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」に課題が見られる。そのため、本校の重点課題を「立ち幅跳び」に設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業の導入でリズムダンスを取り入れる。 ・毎日トレーニングを行う。(体育の授業・家庭学習または各学級での活動の中で)
(女子) 22/48			
目標値	体力テスト「立ち幅跳び」の記録の県平均以上の項目を6項目以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	88.3	11.7
仕事に充実感がある	88.3	11.7

児童生徒アンケート(%) (2)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	81.8	18.2
自分の考えは、認められている	82.5	17.5